庁議の概要

開催日　令和７年 10 月 27 日（月）

◎項　目

１　今週の動き

◎内容

１　今週の動き【各部局】

〇観光振興スポーツ部長

高知龍馬マラソン 2026 について、エントリーが 10 月 31 日で締め切り。10 月 22 日現在でフルマラソン参加者が 8,713 名。駆け込み需要等を考慮して、1 万人弱程度になると予想。

プロ野球チームの秋季キャンプ受け入れについて、阪神タイガース及び中日ドラゴンズの秋季キャンプが 11 月１日から始まる。中日ドラゴンズについては、県内の受け入れは初となる。

〇土木部長

10 月 28 日に高速道路のミッシングリンクを解消し日本の再生を実現する 10 県知事会の要望活動を実施。片山財務大臣や鈴木自民党幹事長へ要望を行う。

〇警察本部長

11 月１日から 12 月１日は、犯罪被害者等支援広報啓発強化期間。県及び市町村、警察、被害者支援団体等が一体となったワンストップの支援の構築が進められているので、この期間でしっかりと広報する。中学校等で被害者遺族の講演があり、これを受けて例年作文コンクールに応募いただいてる。毎年、本県からは全国表彰に繋がるような素晴らしい作文が提出されており、今年も期待しているところ。

特殊詐欺について、犯罪グループは秘匿性の高いアプリを使っている。これを解析し、全国の関連情報や警視庁の捜査体制を使い、海外の拠点摘発も含めて、捜査に繋げている。広報啓発と併せてしっかりと取り組んでいく。

〇知事

本日の災害対策本部事務局等震災対策訓練に関連して、風水害は想定が事前につくが、地震はいつ起こるかわからない。6 年弱知事をやっている中で、災害対策本部は２回立ち上げており、いずれも深夜の時間帯であった。当時は、迅速な対応ができたが、人も入れ替わるので、２、３年に１回は訓練を行う必要がある。国の危機管理関係省庁の局長級の参集は 30 分程度であり、国の動きは大変早い。各県、各市町村は発災後、約 1 時間程度で災害対策本部会議を立ち上げ、国及び県、市町村が連携する様子をテレビ等で見ていただくのが、県民の皆さんにとって一番の安心材料になる。発災時に、的確に対応できるように日頃から準備をお願いする。

来年度に向け、各本部会議等で本年度前半の成果や状況確認をして、来年度以降の取り組みの議論をしていると思う。本部会議等は、報道関係者を入れ、オープンにしているものもある。県の取り組みを理解してもらうチャンスでもあるので、対外的な

ことを意識した資料作成や説明をお願いする。